

経営比較分析表（平成30年度決算）

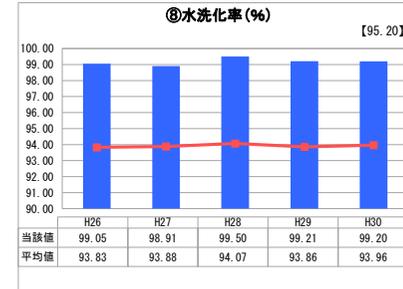
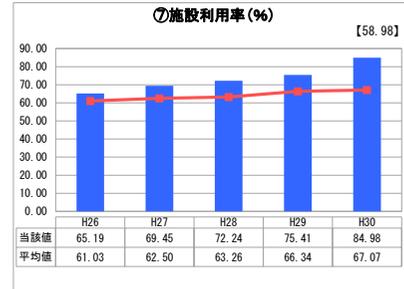
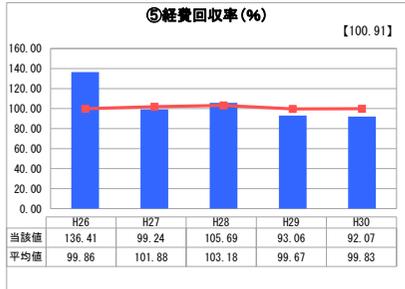
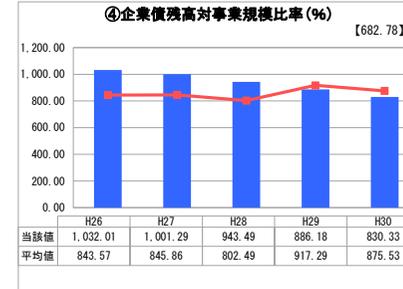
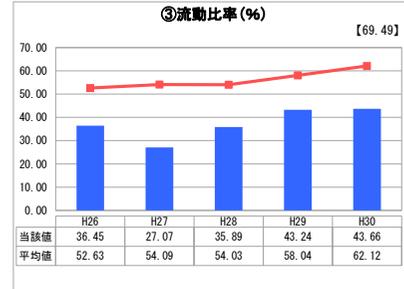
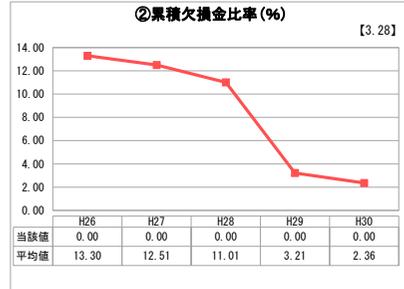
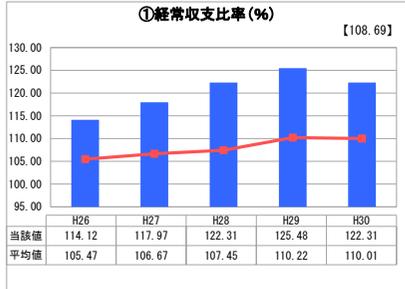
山梨県 甲府市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ad	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	58.57	83.71	59.52	2,386

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
188,774	212.47	888.47
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
157,260	31.68	4,964.02

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、前年度に引き続き、100%を上回っており、下水道使用料や一般会計繰入金等の収益により費用は賅えているが、下水道使用料の減少が予想されるため、今後も更なる経営の効率性を高めていく必要がある。

流動比率は、企業債残高が減少傾向であるものの、依然として多額であるため、前年度と同様に低い数値となっている。短期的な債務については、下水道使用料収入や一般会計繰入金・国庫補助金等で賅えていることから、支払能力は確保できている。企業債残高対事業規模比率は、企業債の償還が進んだことにより前年度より改善し、類似団体の平均より低くなっている。

経費回収率は使用料収入の減少により前年度に比較し、低下している。

汚水処理原価の増加要因は、前年度に比較し、年間有収水量が減少したことによる。

施設利用率は、類似団体の平均を上回っている。施設の老朽化が進んでいるため、今後も計画的な施設更新を行っていく。

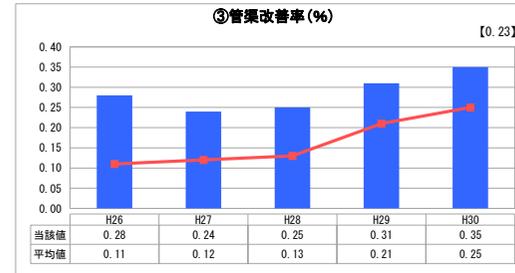
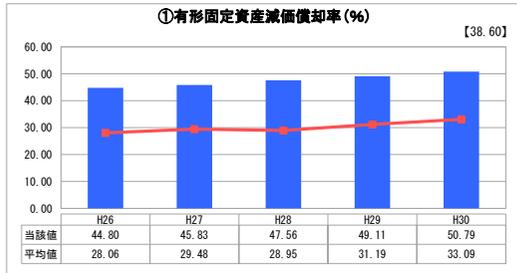
水洗化率は、類似団体の平均を上回っている。今後も効果的な普及活動を進め、水洗化率の向上を図る。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率及び管渠老朽化率は、年々上昇しており、類似団体の平均を上回っている。老朽化が進んでいることから、今後も計画的な更新・改良を行い、適切な維持管理に努めていく。

管渠改善率は、施設の長寿命化対策に取り組んでいることにより、類似団体の平均より高い数値となっている。

2. 老朽化の状況



全体総括

本市の下水道事業は、人口減少や節水機器の普及等に伴う水需要の減少傾向が継続する厳しい経営環境のなか、経営の健全化に努めてきたが、平均値を下回る指標があるため収益の増加と費用の抑制に努める必要がある。

施設の老朽化が進んでいるため、アセットマネジメントの手法を取り入れるなかで、施設の適切な維持管理を行うとともに、更新投資の最適化を図り、施設や管渠の改良を効果的に進めていく。

今後も、経営戦略に基づき、中・長期視点に立った計画的・効率的な事業経営に努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。